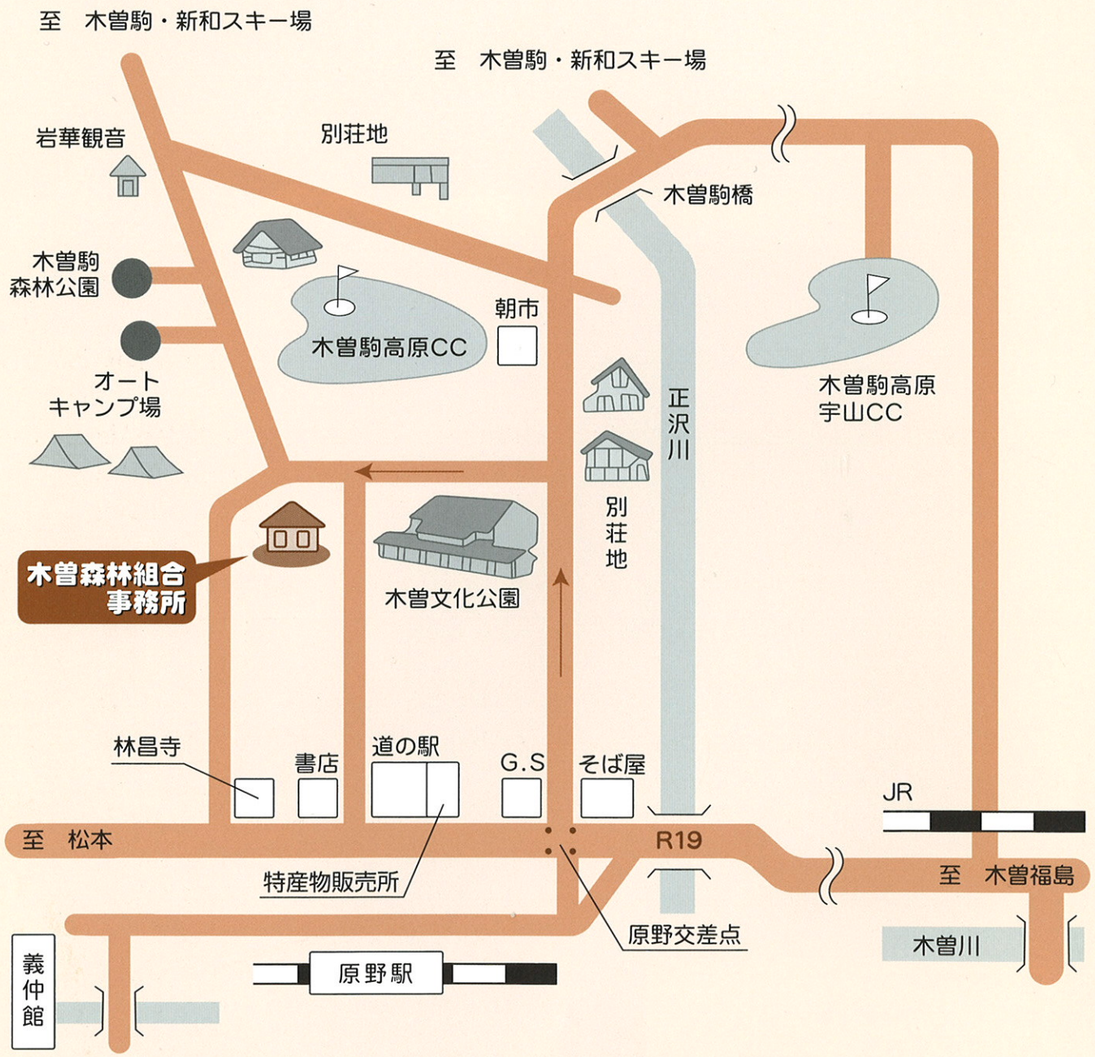
木曽森林組合ガイドマップ



木曽森林組合発足にあたり

代表理事組合長　浦沢 英一

木曽の山々には春夏秋冬と美しい四季があります。特に新緑と紅葉は木曽のすばらしさを演出してくれます。

先般10月1日に木曽北西部の7ヶ町村4森林組合の合併が成立し、新しい木曽森林組合が発足いたしました。第1回の理事会に於いて代表理事に選任されました前三岳村森林組合の浦沢であります。もとよりその様な器ではありませんが、組合員皆様のご支援を頂戴しながら務めさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

木曽郡は香川県にも匹敵する広大な面積をもち新木曽森林組合は東に木曽駒ヶ岳、西に御嶽山の両名山を範囲として約10万ヘクタールの森林を守り育ててゆくことが求められております。

森林は木材を供給するばかりでなく、美しい自然環境、水資源の涵養、保健休養や学修の場とし加えて二酸化炭素を固定し、酸素を供給するなど多岐にわたりその効果は40兆とも60兆円とも言われております。

私達の住む木曽の森林は木曽川の清流を生み出し下流域の生活経済に大きな貢献をしております。下流域の皆様の森に対するご理解も深まり、木祖村に於ける日進の森、三岳村の三好町友好の森をはじめ多くの自治体が交流を通じて森林づくりに協力いただいております。この様に森林も河も共有の財産として守り育ててゆきたいものです。

木曽森林組合は生まれたばかりの組合でありますが、皆様のご支援を得ながら山作りのプロとして地域の期待に応えるべく役職員一丸となって努力をして参ります。また広域のため組合員との距離が遠くなるのではといった声もありましたが情報化の時代でありますので、お聞きをしたり、流したりして疎遠にならないように努めて参ります。皆様の温かいご支援ご協力をお願いし発足にあたりご挨拶といたします。